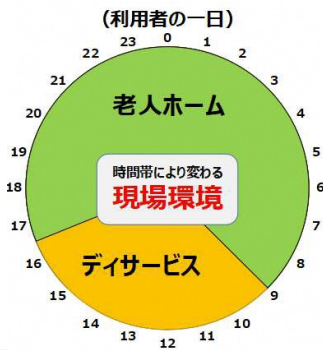


複合施設間の情報共有と コミュニケーション

～全員実施までの取り組み～



介護複合施設ひばり
朝香 智行



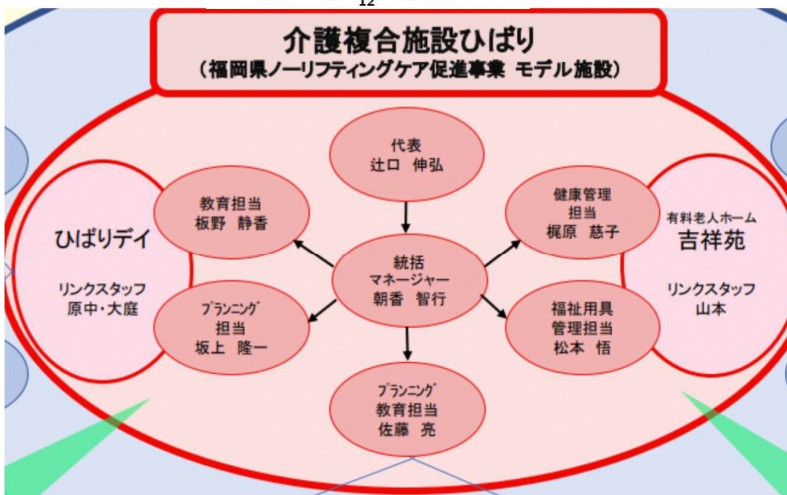
複合施設の特徴

- ・有料老人ホームにデイサービス併設
- ・24時間のケア統一が必要

課題

勉強して知識と情報を持っている人、
そうでない人の差がうまらない

業務体制や人員配置が違う環境での差が浮
き彫りに



取り組んだ理由

【介護複合施設ひばりの課題】

現場の声を拾えていない

統一したケアが徹底
(継続) できていない

情報共有できていない

介護技術の未定着

教育・研修がうまくいかない

できないのではなく「実施しない」のはなぜ？



実施していない要因



情報が生き届いていない
(目的や、やる効果が実感できない)

やり方がわからない
(どうやっていいかわからない)

実施にくい環境
(やりにくい、面倒くさい)



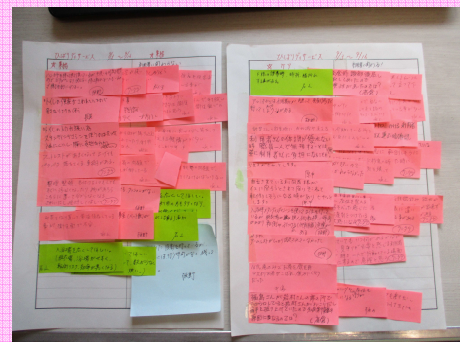
やらない！人による差がうまれる！

対策

情報共有（情報の見える化）

手技の周知徹底

環境・・・片付け、福祉用具、
用具のメンテナンスと整頓



付箋を使用し、現場の声を拾っていった

例えば・・・

床にものが散乱している状態



不良姿勢での業務が改善されていない



時間、気持ちに余裕がなく必要なケアに余裕がない



教育も上手くいかず、ばらばらのケアを行い、施設間の統一したケアもできていない



これらを改善しなければと感じていた

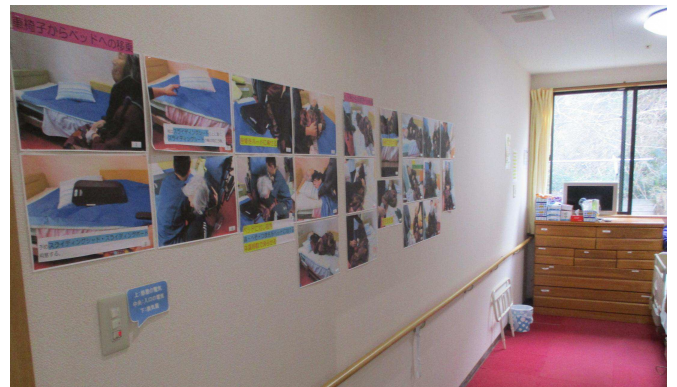


施設間のケアの統一について

- ベッドと車いすの移乗の環境設定
- 排泄介助場面の環境設定
- 本人の身体機能を利用することを統一
- 職員全員が介助できる方法



各施設の職員共同でケア介助方法を決定して、写真や動画で共有をした



環境整備について

- 福祉用具が不足することにより、その道具が空くのを待ってケアしていたのでストレスになっていた



- 福祉用具が充足することでストレスは軽減した
- 更に施設図を基に使用頻度が高い場所に設置場所を設け有効活用を図った



【老人ホーム】



【デイサービス】

PDCAサイクルでの環境整備



PLAN
床に乱雑な荷物



DO
棚の設置



Check
まだ床に荷物あり・棚も乱雑



Act
名札や籠で分かり易くする事で自身で荷物管理を、車椅子の方もとれる高さの設定→再度PDCA

職員全員でPDCAサイクルを何度か回し完了させた

全員での達成感（成功体験）を経験する事で自信とモチベーションUPに繋がった！

※何度も説明するよりも一度の経験（成功体験）が大事と実感！

教育について

• DVD

社内のみ閲覧できる介護技術の動画を教育フォルダに保存。研修内容のDVDを見てからの参加とした。



• デイサービス職員

勤務シフトに研修日を明記。該当者はその日の送迎業務には加わらない。毎回2名ずつ研修を行い、修了者にはサインをもらうようにした。



• 有料老人ホーム職員は

夜勤帯の時間に合わせ、17時より2名ずつ研修を行った。老人ホーム職員が研修を受けている間、デイサービスの職員が老人ホーム業務にあたるようにした。



滞りなく全員への研修がスムーズに行える様になった

11月 ボード・スタンディングリフト使用方法研修スケジュール

氏名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
新谷智行																							
梅本佳奈																							
高倉香代子																							
原中雄																							
国武弥生																							
板野静香																							
大塚由紀子																							
長瀬聖平																							
江尻一三																							
石山博紀																							
Thao																							
松隈百合加																							
坂上隆一																							
金谷弘典																							
中嶋寛美子																							
崎谷																							
山本和巳																							
松本																							

デイサービススケジュール (11/8 - 11/15)

老人ホーム (11/22 - 11/23)

介護技術

Before

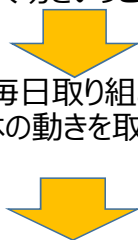


After



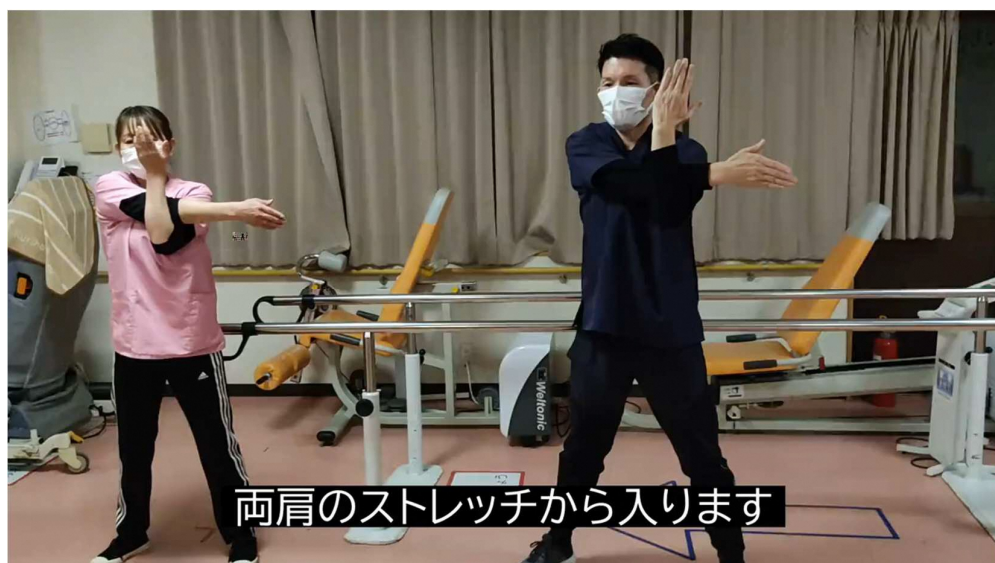
腰痛体操について

- 身体の使い方やケアする姿勢がとても大切ということを実感
- 楽しくて毎日取り組みやすく、ケアの身体の動きを取り入れ、意味づけ



オリジナルのノーリフティング体操を作成し、勤務開始時に行うことでどの時間帯でも対応。楽しく踊りながら姿勢や体の使い方を意識できる。**動画で紹介します。**

体重移動体操（オリジナル）



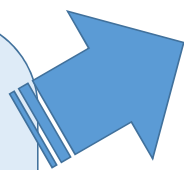
両肩のストレッチから入ります

取り組みの効果

デイサービスと有料老人ホーム全体として

今までの状況

- 情報共有はできていない
- 記録漏れなども、「気を付けてね」「また〇〇」で終わっていた
- 同じ対象者であってもケアの方法が、異なっていた
- 現場で起こったこと（ヒヤリハット等）に対し、どちらでも起こりうるという意識が共有できていない
- お互いに責任を押し付け、責め合うことで終わっていた



県事業のノーリフティングケア導入後

- 福祉用具の適切な使用の推進
- 福祉用具を使用できる体制づくり
- 業務整理と明確化
- リスクマネジメントのP D C Aでの運営

マネジメントとして運用できる様に

結果：全員の実施へ繋がった事

- 「危機意識を持って対応」
- 「適切なケア方法の実施」
- 「情報共有」
- 「コミュニケーションの良化」

ノーリフティングケアとは**リスクマネジメント**を中心による体制作りによって「**意識を変える**」「**働き方を変える**」事と気付けた！